

平成29年度 地球温暖化防止活動 環境大臣表彰

環境省では、平成10年度から、地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績をたたえるため、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っています。

※募集部門については、裏面をご覧ください。

■ 表彰対象

各部門における顕著な功績のあった個人又は団体(自治体、企業、NPO/NGO、学校等。共同実施も含む。以下同じ。)及び上記の活動において連携や支援を行っている個人又は団体を表彰対象とします。また、表彰対象者は、原則として日本に在住する者又は組織の拠点を日本国内に置く団体に限ります。ただし、応募申請内容と同一の活動あるいは功績により、過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受けているものは表彰の対象となりません。

■ 応募方法

応募の申請は所定の様式に必要事項を記入し、平成29年8月2日(水)までに(必着)、裏面の提出先へ郵送にてご応募ください。なお、様式の電子ファイルについても併せて電子メールに添付してご送付ください。申請書については、環境省ウェブサイトにある6月12日(月)報道発表「平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰の募集について」をご覧ください。なお、ご不明な点は、裏面問合せ先までご連絡ください。

【応募締切】平成29年8月2日(水)【必着】
自薦、他薦問いません。

応募書類の受付を始めます!



応募にあたって

■募集部門

①技術開発・製品化部門

エルツー テック

L2-Tech(先導的低碳素技術)※、省エネ技術、新エネ技術、省エネ製品、省エネ建築のデザイン等、温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発によりその製品化を進めたこと(商品化されていないものを含む)に関する功績

②対策技術先進導入部門

コージェネレーション、ヒートポンプ、新エネ製品、省エネ製品、省エネ型新交通システム、省エネ建物等、温室効果ガスの排出を低減する技術や製品の大量導入・先導的導入に関する功績

③対策活動実践・普及部門

地球温暖化防止に資するライフスタイル実践・普及活動、地域における効果的な節電に関する実践・普及活動、植林活動等、地球温暖化を防止する活動の実践・普及等継続的な取組(活動実績が概ね5年以上の継続性を有すること。または、過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動であること。)に関する功績

④環境教育活動部門

地球温暖化について教育資料の開発、情報の提供、学校や市民、企業内における教育活動や普及・啓発等継続的な取組(活動実績が概ね5年以上の継続性を有すること。または、過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動であること。)に関する功績

⑤国際貢献部門

地球温暖化防止に資する技術移転・指導、教育普及活動、国際会議での貢献、海外での植林等、国際的な地球温暖化防止対策活動に関する功績

※L2-Tech(エルツーテック)とは、Leading and Low-carbon Technologyとして、平成26年3月に環境大臣が打ち出した概念。特に先導的な低炭素技術であって、今後の導入普及によって社会全体で大幅な省エネ(CO₂排出削減)を実施することが見込まれるもの。

■**選定方法** 地球温暖化防止活動環境大臣表彰選考委員会による審査を経て環境大臣が決定します。

■**表彰方法** 表彰状及び記念品を授与するとともに、受賞標章の使用を認めます。

■**表彰式** 平成29年12月上旬

■結果の通知

結果については、受賞に係る報道発表資料を環境省ウェブサイト(www.env.go.jp)より御確認ください。なお、審査経過に係る問合せ、審査結果等に対する異議申立ては受け付けませんのでご了承ください。

■提出先/問合せ先

【事務局】一般社団法人地球温暖化防止全国ネット

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル4F

TEL:03-6273-7785 FAX:03-5280-8100 E-mail:daijin-hyosyo@jccca.org

平成28年度受賞者一覧

過去の受賞者、受賞内容など詳細な情報については、ウェブサイト

「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞団体等活動概要(パンフレット) http://www.env.go.jp/earth/ondanka/min_award/index.html をご覧ください。

技術開発・製品化部門	●株式会社イノアック住環境 ●A.G.Cグラスプロダクツ株式会社 ●大阪ガス株式会社、アイシン精機株式会社、京セラ株式会社、株式会社ノーリツ ●オーム電機株式会社 ●株式会社コロナ、株式会社デンソー ●J.F.Eスチール株式会社 ●日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社 ●株式会社デンソー、株式会社デンソーエアークル ●東芝ライテック株式会社 ●パナソニック株式会社
対策技術先進導入部門	●株式会社N.T.Tファンリテーズ ●児嶋 啓三郎 ●積水ハウス株式会社 ●静岡県駿東郡長泉町 ●西日本旅客鉄道株式会社 ●株式会社日本海水赤穂工場 ●Fujisawa SST協議会 ●株式会社マルト ●国立大学法人三重大学
対策活動実践・普及部門	●株式会社一乗工務店、株式会社日本産業 ●花王カスタマーマーケティング株式会社 ●菊西 満里子 ●京セラ株式会社京都線部工場 ●地球温暖化防止を考える会 ●株式会社東芝稲浜事業所 ●株式会社都市樹木再生センター ●TOTO株式会社茅ヶ崎工場 ●ふじのくにエコチャレンジ実行委員会 ●弁天町共同ビル株式会社 ●村木 正義
環境教育活動部門	●アースドクターふなばし ●特定非営利活動法人アースライフネットワーク ●高知県地球温暖化防止県民会議県民部会 ●真田 由美子 ●特定非営利活動法人鶴見川流域ネットワーク ●名古屋産業大学環境教育研究プロジェクト ●広島県立油木高等学校ミツバプロジェクト
国際貢献部門	●日本赤十字社 ●一般社団法人日本品質保証機構